



第10回やまぐち高校生県議会に 参加してきました！

周南地域版

R6.10.29 開催



高校生県議会って？

次代を担う県内高校生に県議会の役割や県行政への理解と関心を高めてもらうため、平成27年度から実施されている模擬議会

議長開会宣言



開会宣言する
柳居議長

第10回記念ミニコンサート



第10回の開催を記念して、山口中央高等学校オーケストラ部と合唱部の皆さんの演奏による、ミニコンサートを開催しました！

高校生議員の自己紹介



高校生議員からの質問及び執行部答弁

「豊かな自然」が山口県の大きな魅力であり、素晴らしい観光資源になります。

山口県にある魅力を、県外の人からも見えやすくすることで、観光客、移住者を中心とする、人々の交流が活性化され、自然のすばらしさを再発見すること、山口県にしかできない方法で県内を盛り上げることが重要だと考えます。

山口県の自然を活かした観光政策について、どのようにお考えでしょうか。



質問に立つ
福田議員

本県は、美しい自然に恵まれており、このポテンシャルを活かして観光を振興し、様々な交流を生み出すことは、活力ある県づくりを進めていく上で大変重要であり、福田議員からの御提案は、県の取組における新たな展開を検討していく上で参考になるものと考えます。

まず、「より探究を深める修学旅行プラン」について、県では、農山漁村での民泊体験など、様々な体験型学習プログラムを取りまとめ、県内外の学校関係者に情報発信するとともに、市町等と大都市圏の旅行会社を訪問し、積極的に売り込みを行っています。

今後は、廃校を活用した田舎暮らし体験など、コンテンツを充実させ、大規模な受入れも可能となる修学旅行プランを開発するなど、市町等と連携し、取組を進めてまいります。

次に、「海のない県に海を貸すプラン」について、水産業の担い手を増やすと同時に、山口県の海の魅力を知っていただく、大変ユニークな御提案だと思います。

県では、水産業の担い手を増やすため、首都圏での相談会に参加するとともに、段階的な研修や就業後の給付金支援など、全国トップレベルの支援を行っています。

また、都市と農山漁村との交流を促進する取組の中では、漁業の魅力を活かした体験プログラムを組み入れ、広く県外の方に本県の豊かな海の魅力を体感いただいています。

こうした取組は、全国各地の方々との継続的な関係を構築し、将来的な移住につながることも期待をできることから、今後、市町等と連携をしながら、自然あふれる山口の魅力発信を強化していきたいと思っております。御提案も参考に、魅力的な自然を活かした観光政策を打ち出し、交流の活性化に取り組んでまいります。

答弁する
村岡知事

福田議員（徳山高）と杉山議員（光高）が、周南地域を代表して質問をしました！

山口県では、人口減少と少子高齢化が進行し、特に若年層の県外流出が大きな課題となっています。

中でも、技術者や高度な専門知識を持つ人材の流出は深刻で、優秀な人材の多くが県外の魅力的な企業へと流出してしまっていると考えます。

県内中小企業の魅力を向上させるために、県としてどのような支援を行い、今後どのような対策をお考えでしょうか。



質問に立つ
杉山議員

県内企業が若者から選ばれるよう、働き方改革の推進や給与・福利厚生の改善など、企業の魅力向上に向けて重点的に支援をしています。

まず、若者の希望にかなう就業環境が実現できるよう、テレワークなど新しい働き方の導入支援、育休取得を推奨する企業の登録制度や男性育休の取得実績に応じた奨励金の支給などに取り組んでいます。

また、若者の処遇改善が進むよう、初任給や若年層の賃上げを実施した中小企業等への支援や、奨学金返還支援制度を創設した企業等に対する奨励金の支給など、企業の取組を強力に後押ししています。

さらに、経営者が若者と直接意見交換をする中で、自社が持つ隠れた魅力や課題を発見してもらうセミナーを開催するなどの取組も行っています。

こうした取組により向上した企業の魅力については、積極的な情報発信により、多くの方に関心を持ってもらう必要があることから、大学生が自由な発想で企画・運営する企業紹介フェスの実施や、VR企業見学サイトの充実などに取り組んでいます。

さらに、今後、企業情報や県の支援策等を集約した就職アプリを、より見やすくする改修するほか、アバターで気軽に参加できるメタバース空間上での企業紹介イベントを開催するなど、若い世代への情報発信を強化してまいります。

本県産業力の源泉である中小企業の持続的な成長や発展に向けて、多くの若者に山口県で働く選択をしてもらえるように、企業の魅力向上に取り組んでまいります。



答弁する
村岡知事

第10回やまぐち高校生県議会で可決された意見書



提案理由を説明
する桑野議員

「男性の育児休業取得率向上のためのサービスロボット導入を求める意見書」

男性の育児休業取得率の低い産業において、作業効率を上げ、人手の余裕を持たせることにより、育児休業取得率を上げるために、サービスロボットの導入を求める意見書を、高校生議員47名全員の賛成で可決しました。

(代表提案者:豊浦高等学校 桑野 羽桜さん)

決意表明

高校生議員を代表して、

「山口県民の一員として持続可能な未来社会に貢献し、誰もが暮らしやすく、希望にあふれた山口県の実現のために、積極的に尽力し続ける。」と決意表明をしました。



決意表明する
立野議員

(決意表明者:下松高等学校 立野 嬉杏さん)

周南地域の高校生議員の皆さん

(光高等学校)

佐野村泉月君 杉山和輝君
三島大希君

(下松高等学校)

岩田真采さん 立野嬉杏さん

(下松工業高等学校)

岩本リカさん 樫部恭哉君
岡村亘泰君

(徳山高等学校)

青木まり花さん 通山鎧蒼君
福田龍吾君

記念撮影



山口県議会のホームページには、これまでの高校生県議会の概要をはじめ、議会に関するいろいろな情報が掲載されています。

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>